

【別紙 1】「アグリ・スマートシティ」に関する補足説明

1. 「アグリ・スマートシティ」とは

飛行機と ICT（情報通信技術）を使って地域と都会の人とモノを最速でつなぐことによって、地域に住みながら都会の仕事と農業など地元の仕事を両立して豊かなライフスタイルを満喫できる新たな街。

2. めざすこと

地域が活性化し、多くの国民が幸福で豊かな生活が送れる社会の実現。

3. 概要

「オンライン会議環境」「ワーキングスペース」「食農ソリューション」「産直空輸」などを活用することによって、地方空港から近い距離に新たに創る、都市圏と繋がりながら地域で都会の仕事と地元の農業などの仕事を兼業して、地域での豊かな生活を満喫できる未来型職住近接の街。

4. 「アグリ・スマートシティ」で実現することのイメージ

地方空港から車でおよそ 30 分圏内において、リモートワークによる仕事と、「産直空輸」活用の農業など地元の強みを活かせる仕事を両立でき、生活が便利で、自然や文化など地域の良さを満喫できる「場」。

例えば、空港から近い郊外にあるショッピングモールの近接エリアにレジデンスとワーキングスペースを併設し、地元の人たちと交流しながら農業などを兼業できる環境。

【ポイント】

① 大都市圏とのつながり

- ・「オンライン会議環境」「ワーキングスペース」「食農 ICT ソリューション」「産直空輸」などを活用し、飛行機と ICT によって大都市圏とつながる。
- ・日頃はネットワークによってリモートで仕事をし、必要な時に飛行機で都会に移動する。

② 職住近接

- ・ショッピングモール、学校、病院、ワーキングスペースなど日常生活に必要な施設と住む場所が近接する。
- ・通勤時間の負荷が軽減され、その時間を余暇や兼業に回すことで豊かで幸福な生活につながる。

③ イノベーション創出環境

- ・地元の人たちと、他の地域から入ってきた多様な人たちが交流することによって、地域の課題解決と新たなイノベーションが生まれやすくなる。

④ 農業など一次産業推進

- ・後継者のいない農家にとっては、他の地域から入ってくる人たちとの交流によって人手不足が解消して農業の後継者育成につながる。他の地域から入ってきた人たちにとっては農業の知見を教えてもらえる。
- ・農業 DX、流通改革、ブランディング戦略など新たな取り組みが促進され農業の効率化や、農産品の高付加価値化につながる。

これらのポイントをハード面・ソフト面の両面で実現する環境としての新たな街を創出することによって、これまでの地域のハンディキャップを克服。そこに住む人たちは、地元の強みを活かした兼業などによって**大都市圏に住んでいた時よりも収入が高く、通勤時間短縮と自然や文化に触れる心豊かな生活を実現することで、仕事にも良い影響が出るワークライフシナジー**を得やすくなる。

また周辺の地元住人もこの街を通して他の地域から来た人たちと交流することで、**後継者育成や地域の課題解決など様々なメリット**が享受できる。**一緒に農作業などをする中で信頼関係**も生まれる。

5. 「アグリ・スマートシティ」によって解決したい課題

以下の 5 点の大きな社会課題に対して、一つのソリューションとなり、少しでも解決につながることに貢献できればと考えている。

① 大都市圏への人口一極集中

首都圏など大都市圏は人口集中が改善すれば、通勤負荷、住居費負担などの課題が解決しやすくなる。

② 地域の過疎化

このまま過疎化が進むと社会生活維持が困難になる地域が多いが、本構想実現によって将来的に人口減少が抑

えられることが期待される。

③ **日本の農業など一次産業の衰退**

農家の後継者不足によって農業の担い手が少なくなり農家の知見が継承されず耕作放棄地も拡大する状況を、大都市圏からの移住者が地元の農家などと交流して知見や農地の継承しながら、農業 DX や流通改革などの新たな視点で農業を儲かるビジネスに変革することにチャレンジする。

④ **イノベーションが生まれにくい環境**

日本はイノベーションの面で諸外国から遅れをとっているが、大都市圏と地域の人たちが交流すること、これまでとは違った環境での新たなワークスタイルによって、イノベーションが生まれやすい環境が期待できる。

⑤ **国民の幸福度低下**

2019 年度「世界幸福度ランキング」で 58 位、G7 で最下位の日本は、大都市圏、地域ともに課題を抱えているが、本構想実現によるワークライフシナジーによって仕事と生活の両面での満足度向上につながることを期待できる。

6. その他

現在、多くの人々がリモートワークをしている。リモートワークに適さない職種もあるが、生産性が向上する職種もあることも分かった。これを踏まえて、リモートワークが適する職種の人の中で、地域での生活にメリットを感じる人たちに、さらに付加価値が付く環境を提供することで移住が促進され则认为る。

【イメージ写真】

都会の仕事オンラインで行い農業など地域の仕事を兼業し、そこに住む多様な人々と地域の人たちが交流する街



(山口県におけるワーケーションでの写真からイメージに合う写真を抜粋)

以上